

SECOM

近年の多様化・高度化する安全・安心ニーズに応えるセコムの迅速な提案力

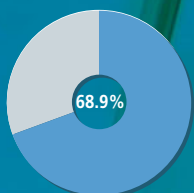
近年、社会の変化に伴い、新たな不安要因やリスクが発生しています。その例としては、侵入犯罪の増加や凶悪化、企業の機密情報や個人情報の流出、高齢社会における健康不安、子どもや学校をねらった犯罪の増加などが挙げられます。私たちの社会生活を取り巻くこのような不安要素は、時代とともに多岐にわたり、お客様のニーズも多様化・高度化しています。

セコムは、こうしたお客様のニーズの変化に迅速に対応するため、これまで蓄積してきたセキュリティのノウハウや独自の技術開発力、ネットワークやプロフェッショナルな対応力などを駆使して、独自性の高いサービス・システムの提供に努めています。セコムの事業分野は、セキュリティ、メディカル、保険、地理情報サービス、情報通信などに及び、各分野で“あらゆる不安のない社会”を実現するために、積極的に活動を展開しています。海外では、高度経済成長が続く中国を中心に、アジア各国でのセキュリティサービス事業の展開をさらに加速させています。

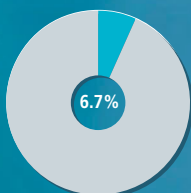
ここでは、社会のニーズの変化に対応した最近のセコムの取り組みをご報告します。

純売上高および営業収入合計に対する割合*
*セグメント間取引を除く。

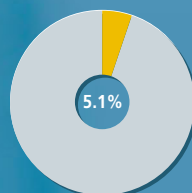
セキュリティサービス事業



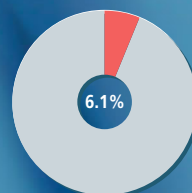
メディカルサービス事業



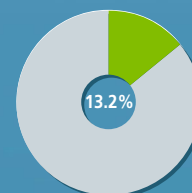
保険サービス事業



地理情報サービス事業



情報通信・その他のサービス事業



事業所向けセキュリティサービス



Solutions for Businesses

国際的なファッション街として多くの人が集う、東京都渋谷区・表参道。2006年2月、この注目のスポットに、これからのファッション・文化のトレンドを発信し続ける「表参道ヒルズ」がオープンしました。

地上6階、地下6階の同施設には、上層階に38戸の住居、その下層部分には、人気ファッションブランドやレストランなどのテナントが入居中です。

セコムは同施設に大規模施設向けセキュリティシステムをご提供しています。

写真提供：森ビル株式会社



大規模施設の高度なセキュリティニーズに対応

近年、大都市では再開発などによって、オフィス・住宅・商業施設からなるひとつの街のような大規模複合施設の建設が盛んに行われています。これらの大規模複合施設では、凶悪犯罪や思わぬ事故を防止して安全に運営・管理するために、高度なレベルのセキュリティが求められており、それは入居者を募集する際の重要なセールスポイントにもなっています。セコムは、こうした大規模施設のニーズに応えるために、セコムの豊富なサービス・商品・ノウハウを結集して、お客様に最適なオーダーメイドのシステムを開発・提供しています。

たとえば、大規模施設向けセキュリティシステムとして、オンラインセキュリティシステムと常駐警備による防犯・設備監視サービスを包括的に提供しています。これは、セキュリティシステムによる機械警備に、高度な訓練を受けた安全のプロフェッショナルで

ある常駐警備員が人間の判断力や応用力を最大限に活かして行う人的警備を組み合わせたシステムです。お客様のご要望に合わせて、セコムのさまざまなサービス・商品を付加することもできます。これらの商品提供力を活かして、セコムは、これまでに数多くの大規模施設向けセキュリティシステムを納入しています。

セコムは大規模施設のセキュリティノウハウと最新のネットワーク技術、そしてグループの総合力で、これからもお客様のご要望に応えていきます。

広い敷地の防犯対策にも対応

広大なエリアの安全管理についても、セコムは豊富な経験とノウハウを持っています。治安がますます悪化する中、広大な敷地を持つ工場や学校、大規模集合住宅、ショッピングセンターなどでは、建物内だけでなく敷地内への不法侵入を監視したいというニーズが



セコムのコントロールセンター

事業所向けセキュリティサービス



統合型入退室管理システム「セサモTR II」

個人情報の流出防止対策で高い評価を得ているのが、セコムの入退室管理システムです。パソコンなどの情報機器や文書、カルテなどの流出防止には、重要な部屋の入退室を規制し、いつ、だれが、どこに出入りしたのかを、記録管理できるシステムが効果的です。セコムでは、シンプルな出入規制から高度な入退室管理まで、お客様の多様なご要望に応えるシステムを取り揃えています。セコムのオンラインセキュリティシステムとも接続できる統合型入退室管理システム「セサモTR II」は、1拠点当たり最大で400扉、5万人に及ぶ入退室管理が可能で、ネットワークで本社・支社などの複数拠点を結びと最大で200拠点までの入退室管理が可能なシステムです。パソコンでシステム全体を管理できるため、大規模ビル、大規模工場、複数の営業拠点を持つ企業などに最適なシステムとして提案しています。また、生体認証を活用した出入管理システムとして、指紋照合システム「セサモIDs」に加え、手のひらの静脈を使った認証システム「セサモID」も発売し、厳正で使いやすい出入管理システムをご提供しています。

監視カメラシステム「CCTVシステム」も、情報漏えいの防止と防犯管理の有効な対策として、需要が急増しています。このシステムは、カメラの映像をデジタルのままコントローラーに伝送できる方式を採用し、詳細で鮮明な映像を録画・表示することができます。

現在、多くの企業が真剣に情報管理の取り組みを始めています。こうした状況を反映して、セコムのオンラインセキュリティシステムや入退室管理システム、監視カメラシステムへの関心は、増大しています。

急速に高まっています。しかし、広い敷地には多くの常駐警備員や監視カメラが必要なため、コストが高くなります。そこで、セコムは赤外線を利用することで少ない台数でも広い敷地を監視できる屋外用侵入感知システム「ボーダーシリーズ」や、人の代わりに行動する屋外巡回監視ロボット「セコムロボットX」と、人的警備の長所を活かした常駐警備システムを組み合わせた防犯対策を提案しています。

厳正な情報管理で拡大するニーズ

2005年の個人情報保護法の完全施行で、情報に対するお客様のセキュリティ意識は急速に高まりましたが、その後も個人情報の流出事件が相次ぎ、企業にとって厳正な情報管理が重要になっています。こうしたニーズに対応するため、セコムのセキュリティを新たに採用する企業や病院などが増加しています。



屋外巡回監視ロボット「セコムロボットX」

CCTV (監視カメラ)





高度化する店舗セキュリティに対応

セコムは、店舗向けセキュリティにおいても大きな実績があります。オンラインセキュリティシステム「セコムIX」では、店員が挙動不審者の来店や泥酔者の迷惑行為などに不安を感じたとき、要請ボタンを押すかセコムホンを持ち上げるだけで、画像センターに遠隔監視を要請できます。また、強盗や暴力行為などで身の危険を感じたときは、非常ボタンを押すだけで、非常信号とともにカラー画像と音声画像センターに送信できます。画像センターの管制員は、その画像と音声で状況を観察し、必要に応じて店内に取り付けたスピーカーで音声による警告を行い、緊急対応員を急行させます。また、必要に応じて警察に通報します。

セコムは、開店中の商品などのセキュリティも強化したいというニーズに応じて、店舗での万引き防止策として有効な「不正持ち出し監視システム」も販売しています。万引き犯罪は、年々増え続けており、その被害が、小売業の経営に深刻な影響を与えています。これを解決するため、セコムは全国の営業網を活用して「不正持ち出し監視システム」を積極的に提案し、市場開拓を行っています。

セコムの緊急対応員



PFI施設の運営事業に進出

セコムは、山口県美祢市に設立される日本初のPFI刑務所の建設・維持管理・運営を、民間企業12社のグループの中核として推進中です。PFI (Private Finance Initiative) は、民間の資金、経営能力および技術力を活用して、公共施設などの建設、維持管理、運営などを行う手法のことです。法務省によるPFI刑務所運営事業者の選定は、入札価格と提案内容を総合的に評価する一般競争入札で行われ、セコムを代表企業とする企業グループが落札しました。この落札は、大規模施設のセキュリティにおけるセコムの豊富なノウハウが、法務省に評価されたものと考えています。

当施設は、2006年1月から建設に着工し、2007年4月のオープンに向けて準備中です。特徴は、公権力にかかわる部分を除き民間が運営に当たり、効果的・効率的な管理運営とともに、矯正教育や職業訓練の充実も図っていくことです。施設には受刑者の現在位置を確認できる位置把握システムや、鉄棒柵の代わりとして強化ガラスを採用し、最新のセキュリティシステムも導入されます。

セコムは、官民協働での刑務所運営という新分野に進出することで、PFIや刑務所運営のノウハウの積極的な取得を目指し、受刑者の社会復帰と再犯防止を支援する教育・訓練を通じて人材再生に貢献し、物資購入や雇用創出などを通じて地域活性化にも貢献していきます。



山口県美祢市のPFI刑務所

山口県美祢市のPFI刑務所の全景



家庭向けセキュリティサービス



Peace of Mind for the Home



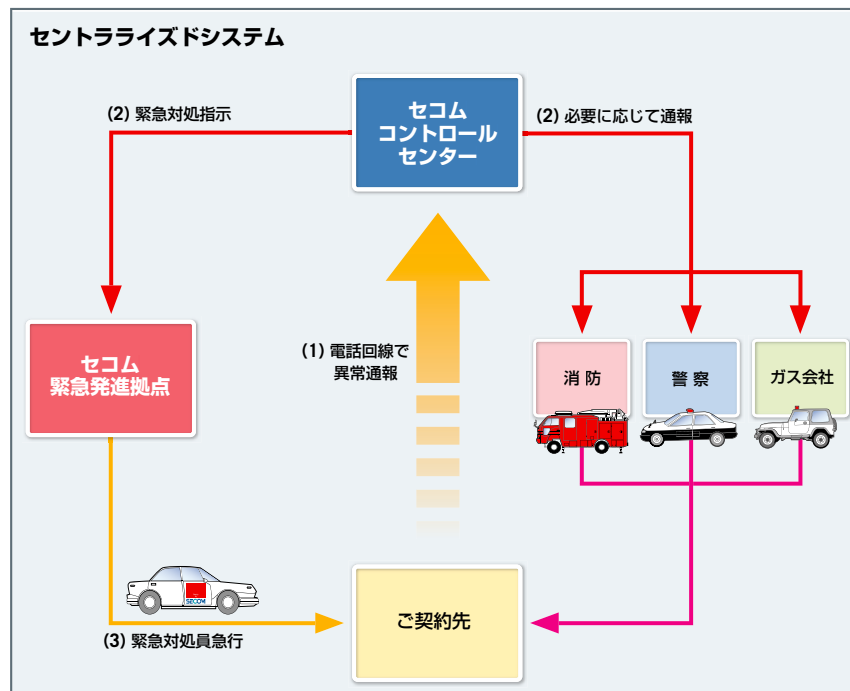


進化する 「セコム・ホームセキュリティ」

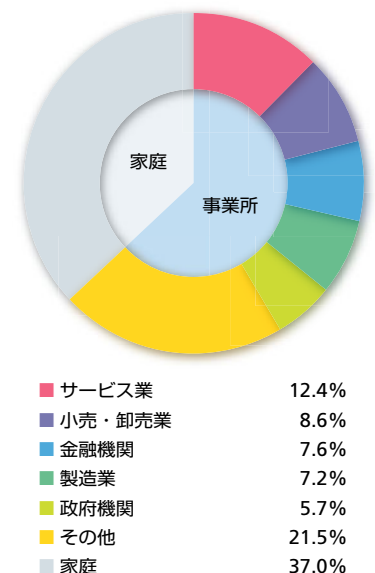
セコムは、事業所向けセキュリティだけでなく家庭向けセキュリティ市場でも主導的地位にあります。1981年に日本で初めて「セコム・ホームセキュリティ」を発売し、それ以来ご家庭の安全を見守ってきました。侵入・火災・ガス漏れ・急病などを24時間オンラインで監視する「セコム・ホームセキュリティ」は、今では「安全・安心」な暮らしに寄与すべく、多くのご家庭でご利用いただいています。そして、お客様に質の高い警備力とサービスを提供し続けることで、信頼のブランド「SECOM」として評価されています。

「セコム・ホームセキュリティ」のお客様は、マンションにお住まいの一人暮らしの若者から30～40代のご家族や中高年のご家族まで、幅広い層に広がっています。また、

お客様が求めるセキュリティは、ライフスタイルによっても異なることから、それぞれのニーズに対応可能な新しい「セコム・ホームセキュリティ」を、2006年5月に発売しました。その特徴は、マンション用、比較的小さめな戸建住宅用、平均的なサイズの戸建住宅用、部屋数が多いお宅や二世帯住宅用の4タイプがあります。お客様はこの中から、住まいの形態に合わせて最適なシステムを選ぶことができます。さらに、帰りが遅いご家族を待たず就寝するときに便利な「帰宅待ち機能」、室内の人の動きが一定時間確認できない場合に異常と判断してセコムが対応する一人暮らしの高齢者向けオプションサービス「ライフ監視機能」も新機能として加わりました。



セントラライズドシステムの契約先区分
(2006年 3月31日現在)



家庭向けセキュリティサービス



「セコム・ホームセキュリティ」



生活支援サービス「セコム・ホームサービス」

セコムステッカー



セコムショップ



「セキュリフェースインターホン」



2006年6月1日以降に工事着工する新築住宅には、寝室や階段などへの火災警報器の設置が義務付けられました。既存住宅も、同様に自治体が定める火災予防条例に基づき、2011年5月31日までの設置が義務付けられます。セコムでは、ホームセキュリティと接続できるブザー付火災警報器を提供しており、このブザー付火災警報器のご紹介を通じて、「セコム・ホームセキュリティ」の拡販を図ります。

家庭向けサービス・商品の充実

セコムは、「セコム・ホームセキュリティ」の付加価値を高めてお客様の幅広いニーズに応えるために、さまざまなサービスを提供しています。そのひとつが、「セコム・ホームセキュリティ」をご契約しているお客様の健康不安解消の手助けをする「セコム・メディカルクラブ」です。このサービスは、セコムのメディカルサービス事業のノウハウを活用し、ご利用のお客様に健康に関する電話相談やインターネットなどでの生活習慣チェック

を提供するものです。また、独自の生活支援サービス「セコム・ホームサービス」も開始しました。このサービスでは、鍵の紛失や窓ガラスの破損など、お客様の日常生活で起こるさまざまな問題を解決する手助けをします。また、掃除などの家事のサポートや、ご自宅の外周確認やパトロールなどのサービスも行います。ホームセキュリティと一体となったホームサービスは、独創的な試みとして、現在、首都圏と関西圏の一部で展開していますが、たいへん好評で、ホームセキュリティに新たに加入する動機にもなっています。今後もサービスのメニューを充実させて、困ったときに頼りにされる「安心・便利・快適」なホームサービスを、拡充していきます。

また、ここ数年の傾向として、在宅中の家に押し入って危害を加える凶悪な犯罪が増えています。そこでセコムは、在宅時の「安全・安心」を確かなものにするために、「室内」「扉や窓などの開口部」「塀や庭などの外周部」で、ご家庭の安全を強化する商品を提案しています。具体的には、開口部の安全を強化するセンサー付き防犯ガラス「SECOMあんしんガラス」、外周部の安全を強化する「屋外



画像監視サービス」や「セコム・ホームカメラシステム」、故意に顔を隠すなどの不審者を判別する顔検知機能を内蔵したインターホンシステム「セキュリフェイスインターホン」などがあります。

ニーズが高まるマンション用 セキュリティシステム

セコムでは、戸建住宅だけではなく、マンションやアパートなどの集合住宅にもオンラインセキュリティシステムを提供しています。マンションでの犯罪が増加する中で、当システムへの関心はますます高まっています。セコムは、1987年に日本初のマンション用セキュリティシステム「セコムMS-1」を発売して以来、「セコムMS-2」「セコムMS-3」など、多彩なシステムを提供しています。たとえば、「セコムMS-3」は、マンションのセキュリティ機能強化に加え、マンションの付加価値を高める多彩な便利機能を備えています。また、新築、既築を問わず、最大で3棟、約4,000戸戸まで管理できるのも、大きな特長です。マンションの共用部などは、オンラインセキュリティシステム「セコムIX」で遠隔画像監視すれば、防犯対策はさらに強化されます。セコムのマンション用セキュリティシステムは、安全で快適なマンションライフを支援するサービスとなっています。

このようにセコムの家庭向けセキュリティは、あらゆる面からご家庭の「安全・安心」をサポートしています。今後、豊富なラインアップでお客様の多様なご要望にお応えし、セコムならではの質の高いサービスを提供し、家庭マーケットでの優位性をより強固なものにしていきます。



画像センター

マンション用セキュリティシステム「セコムMS-3」



その他のセキュリティサービス



子ども用「ココセコム」の需要が急増



位置情報提供サービス「ココセコム」

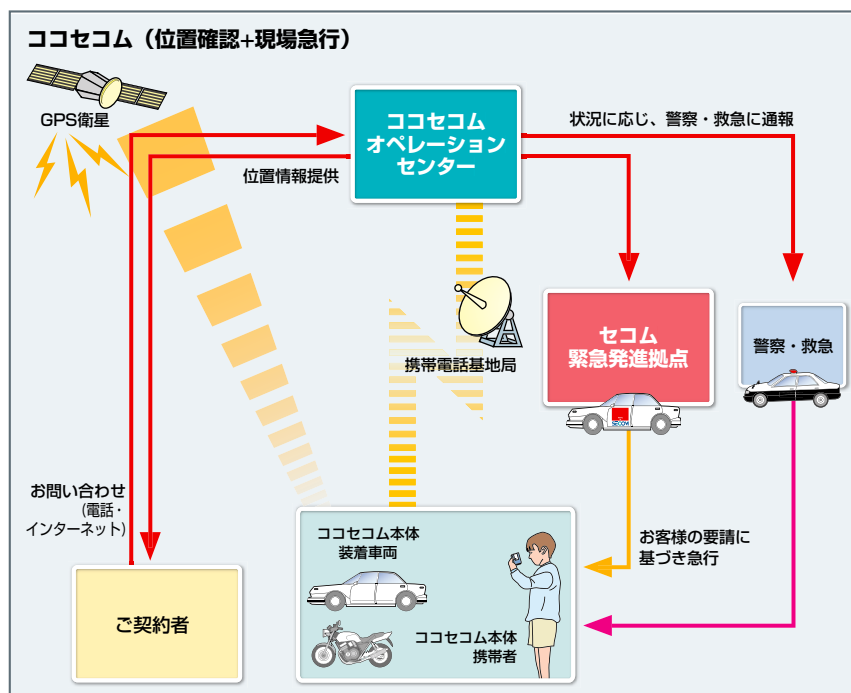
セコムは、セキュリティの対象を企業・家庭から個人にも広げました。2001年に発売し、携帯するセキュリティとして新たな需要を創出したのが、位置情報提供サービス「ココセコム」です。これは、GPS（全地球測位システム）衛星と携帯電話の基地局を利用する測位補完システムにより、条件が良ければ誤差わずか5m～10mの高精度で位置情報を提供できます。また、お客様の要請により、24時間365日、緊急対応員が現場に急行するサービスは、セキュリティ会社として日夜活動しているセコムならではのサービスです。「ココセコム」は、人用と車両用から始まり、現在では貴金属や現金などを運ぶカバン、金庫、ATMといった物用、ペット用、車の運行管理や社員の行動管理ができるタイプなど、サービスの提供対象を拡大しています。

現在、「ココセコム」は、子どもの行方不明や連れ去りにも有効な防止対策として注目され、専用端末をお子さまに持たせる方が急増しています。お子さまの居場所がすぐに分か

る「ココセコム」は、小さなお子さまを持つご家族の不安解消の一助となっています。現在、契約中の「ココセコム」の約4分の1は、子ども向けに利用され、行方不明のお子さまを発見したり、連れ去られそうになったお子さまを無事に保護するなど、携帯するセキュリティとして威力を発揮しています。また、セコムでは、通学中の子どもを守るために、「ココセコム」付きのランドセル「オリビエナブランド」と小学生通学服「プレセーブ」をメーカーとの業務提携により販売し、ご好評を得ています。

さらに、セコムは、子どもたちの防犯意識を啓発するために、防犯用の絵本とアニメの監修を行いました。防犯絵本「白いおばけのスー」は、セコム社員による「子を持つ親の安全委員会」が監修し、親と子が一緒に楽しく学べる内容になっています。「白いおばけのスー」は、発売と同時に子どもの防犯対策の啓発書としてマスコミで取り上げられ、反響を呼びました。防犯アニメ「Kin-Qキッズ★おたすK隊」は、子どもに自分の力で危険を回避する力を育ててもらうことを願って制作されたもので、セコムは、これまでの事件のデータや事例を分析・体系化した防犯のノウハウを提供しました。この作品は、CS放送やケーブルテレビ放送の子どもチャンネルで放送され、DVD・ビデオも販売・レンタルされています。

ココセコム オペレーションセンター



海外でのセキュリティサービス



経済発展する中国で積極的に事業を展開

セコムは、1978年の台湾進出に始まり、次いで韓国と米国で、その後ヨーロッパではイギリス、オセアニアではオーストラリア、アジアではタイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、中国で、日本と同じ質の高いセキュリティサービスを提供してきました。その中でも、台湾の合併会社「中興保全」と韓国の合併会社「エスワン」は、それぞれのセキュリティマーケットでトップシェアを誇り、社会の安全に貢献しています。

近年、セコムが注目しているのは、経済発展が続いているアジアの国々、中でも経済の急成長を反映して、セキュリティの需要が増えている中国です。セコムは中国でセキュリティサービス事業を展開するために、1992年に持株会社セコム(チャイナ) Co., Ltd.を設立しました。同社は、その後、沿岸主要都市の大連、青島、北京、上海のセキュリティ会社を統轄し、日本と同様、異常監視を行うだけでなく緊急対応員が駆けつけるセキュリティサービスを提供しています。

また、中国の巨大なセキュリティマーケットでさらに積極的に事業を展開するために、2005年7月には深圳市に中国で5番目のセキュリティ会社を設立しました。深圳市は、香港の北に位置し、1980年に経済特区に指定されて以来、外国資本の進出で急成長を遂げた中国の経済発展の象徴ともいえる都市です。深圳市への進出で、中国沿岸部の三大経済圏と呼ばれる地域での事業基盤を構築しました。この事業基盤を活用して、セコムは、世界経済の注目を集めている中国で、広く安全を提供していきます。



上海セコムセキュリティ Co., Ltd.
コントロールセンター



英国・セコムPLCのご契約先
英国刑事法院(ロンドン)



メディカルサービス



「コンフォートガーデンあざみ野」

「訪問看護サービス」の需要がさらに増加

家庭の「安全・安心」を突き詰めると、家族の健康に行き着きます。“あらゆる不安のない社会”をめざすセコムは、健康に対する「不安」を解消するために、医療の面からも「安全・安心」を提供しようと、1991年にメディカルサービス事業を開始しました。現在、5人に1人が65歳以上という高齢社会になった日本では、健康や医療への関心がますます高まっています。

セコムが最初に手がけたメディカルサービス事業は、日本で初めての在宅医療サービスでした。その中でも、「訪問看護サービス」や「薬剤提供サービス」の需要が、年々増加しています。「訪問看護サービス」は、主治医の指示にもとづいて看護師が患者様のお宅を定期的に訪問して、状態観察や処置を行うサービスです。このサービスは優れたスキルと豊富な経験を持つ訪問看護師が質の高い看護

「訪問看護サービス」



サービスを提供することで、お客様から厚い信頼をいただいています。需要の増加に伴い、訪問看護師の拠点である医療・介護保険適用の「セコム訪問看護ステーション」は、全国37カ所に拡大しました。セコムは今後も患者様の視点に立った「訪問看護サービス」で、満足度の高い「安心」をお届けしていきます。

新たな事業を積極展開

高齢社会での最大の「不安」は健康です。そのため、健康維持・増進に対するニーズが一段と高まり、ご自身の身体に投資をする方が増えています。そこで、セコムは、生活習慣病の早期発見と健康管理の指導を望まれる方々の声に応えて、「セコム健康くらぶ KENKO」を開始しました。これは、セコム医療システム(株)が医療法人社団あんしん会と提携して行っている、三大疾患の予防および早期発見をめざす会員制の健康管理サービスです。会員はPET-CTなど最先端の医療機器を備えたクリニック「四谷メディカルキューブ」で、人間ドックサービスや担当医による健康管理サービスを受けることができます。

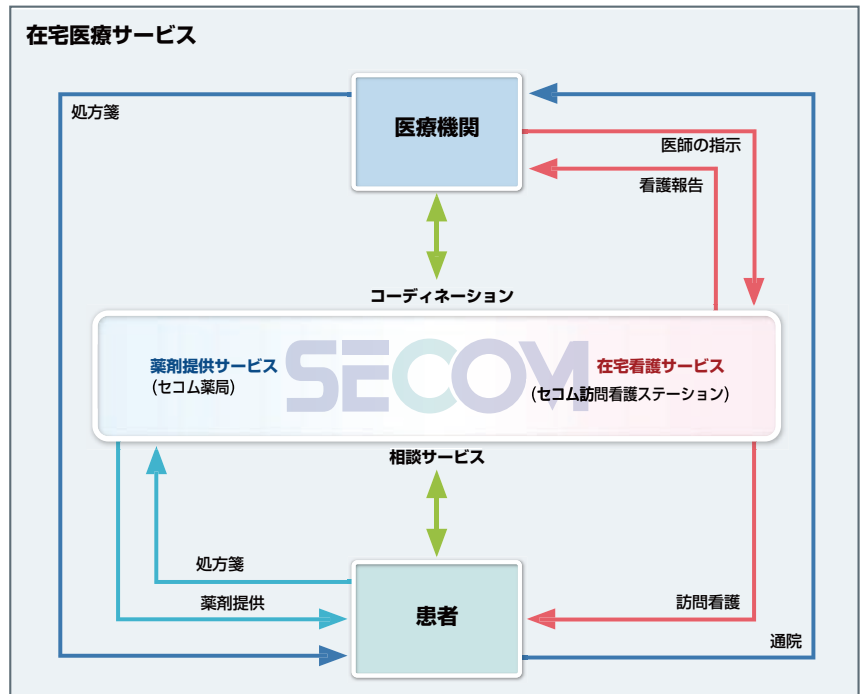
セコムは、新しいコンセプトの有料老人ホーム「セコムフォート」シリーズも展開しています。これまでセコムは、高級有料老人ホーム「サクラピア成城」「ロイヤルライフ多摩」、介護専用型有料老人ホーム「アライブケアホーム」シリーズを運営し、信頼の実績を築いてきました。その運営ノウハウをもとに、セコムのセキュリティ、メディカル、介護サービスなどのノウハウを結集した、新しいコンセプトの有料老人ホームが「セコムフォート」シリーズです。その第一弾として、2006年10月、横浜市の「コンフォートガーデンあざみ野」の運営を開始します。ここでは、施設内にクリニックを併設して、居住者の方々の健康管理を行います。また、居住者の方の介護が必要な場合は、同じ部屋に住んでいただきながら、看護・介護スタッフが手



厚いケアを提供します。さらに、常時見守るような集中的ケアが必要になった場合は、同一建物内の介護居室で専門スタッフがケアサービスを提供します。また、高齢者が操作しやすいセキュリティシステムを開発して、居住者の方々の「安全・安心」を見守っています。「セコムフォート」シリーズの第二弾としては、2009年6月、神戸市に「コンフォートヒルズ六甲」をオープンする予定です。「セコムフォート」は、シニア世代に生きがいや充実感を持っていただくことを目標に、「安全・安心・快適」をテーマに展開していきます。

セコムはさまざまな医療機器も販売していますが、救命用の医療機器として大きな成果を上げているのが、「セコムAEDパッケージサービス」です。AED（自動体外式除細動器）は、突然心停止した人の命を救うのに最も効果的な手段といわれています。2004年7月から医師や救急救命士ではない一般市民でもAEDを使えるようになり、セコムは「セコムAEDパッケージサービス」を発売しました。このサービスの特長は、AED機器一式のレンタル提供、定期交換用消耗品と使用後の交換用消耗品の提供、機器に異常が発生したときの正常化対応、24時間サポート体制という、トータルパッケージサービスにあります。当サービスは、医療施設以外では、スポーツ施設や官公庁、一般企業、空港、福祉施設、学校、宿泊施設などに導入されています。常駐警備などのご契約先でもある成田国際空港にも「セコムAEDパッケージサービス」は導入され、お客様の安全を見守っています。今後も、AEDで尊い命が救われたという事例が続々と報告されるように、このサービスの一層の普及に努めていきます。

セコムは、今後も質の高いメディカルサービスを開発・提供し、お客様の信頼をより高めて、さらなる成長をめざします。



「セコムAEDパッケージサービス」

AED本体



保険サービス



セコム損害保険株式会社



「NEWセコム安心マイカー保険」の現場急行サービス

セコムならではの損害保険

「安全・安心」は、事前の備えであるセキュリティと事後の補償である損害保険が一体化することで、より強固なものとなります。それを実現するために、セコムはグループ内に損害保険会社を有し、セコムならではの損害保険をラインアップしています。

「セコム安心マイホーム保険」は、火災や盗難のリスクが低いホームセキュリティのお客様の保険料を最大約50%割り引くなど、最適な補償とお得な保険料を実現した商品です。法人向けには、「火災保険セキュリティ割引」を提供しています。これは、セキュリティシステムの導入によりリスクが低減した法人のお客様に対して、保険料を最大約30%割り引くものです。また、「NEWセコム安心マイカー保険」は、加入しているお客様が万一事故にあった場合、24時間365日、事故現場に緊急対応員が駆けつける「現場急行サービス」を要請できる自動車総合保険です。「安全・安心」のプロフェッショナルである緊急対応員がサポートすることで、お客様に大きな安心を提供できます。

「自由診療保険メディコム」は、ガンによる入院費用や治療費を全額お支払いする保険

です。自由診療とは、公的健康保険を使わないで治療を受けて、その治療費をすべて自己負担するものです。「自由診療保険メディコム」に加入すれば、自由診療でも公的保険診療でも、ガン治療費の実費全額が補償されるので、お客様は経済的な負担を心配することなく、最先端の治療を受けることができます。

セコムは、これからもグループ総合力を最大限に活かして、独創的かつ魅力的な保険商品を開発し、拡販に努めていきます。

「メディコム」ナースコールセンター



地理情報サービス



震災発生時の「安全・安心」のためのサービスを開始

地理情報サービスを提供している(株)パスコは、測量・計測とGIS(地理情報システム)のリーディングカンパニーとして、事業を意欲的に展開しています。

近年、地震が頻発している日本では、防災に対する意識が急速に高まっています。首都直下型の大地震が発生して交通機関がストップした場合、東京都内に滞在している通勤、通学、買い物などの外出者のうち、自宅まで帰ることができない人々、いわゆる帰宅困難者が多数発生すると予想されており、企業には社会的責任として災害時の対策が求められています。そこで、(株)パスコは企業のお役に立つために、東京都が公開する地震危険度や帰宅支援施設・帰宅支援対象道路などを考慮し、より安全な帰宅ルートを検出する「帰宅支援マップサービス」を提供しています。このサービスを利用すると、パソコンで出発地と目的地を入力するだけで、従業員一人ひとりの専用地図を作ることができます。また、企業は各事業所に通勤する従業員の中に帰宅困難者が何人いるか分かるので、食糧等の備蓄量を算出する際の基準にできます。さらに、休日や深夜の災害発生時には、何人の従業員が徒歩で出勤可能かなど、事業継続計画を策定する資料としても有効です。この「帰宅支援マップサービス」には、インターネットを利用した個人向けのサービスもあります。このサービスでは、個人のお客様が自分の家族専用の地図を作れるため、家庭の災害対策として有効です。

世界市場へ地理情報サービスを提供

(株)パスコは、国内だけでなく、中国、タイ、フィリピン、インド、インドネシア、米国、フィンランドなど海外にも拠点を置き、世界の多くの企業や大学とネットワークを構築して、世界市場に高品質で高精度な地理情報サービスを提供しています。

世界には、未だに国内地図が整備されていない地域があり、特に経済発展を遂げている東南アジアの国々では、正確な国内地図をつくりたいというニーズが高まっています。(株)パスコは、最先端計測技術やGIS技術で、そのような国々のお手伝いをしています。

また、2006年10月打ち上げ予定のSAR(合成開口レーダ)衛星「TerraSAR-X」の撮影データの受信、撮影データの日本国内での独占販売と、世界への販売を行う権利を取得しています。例えば、2万5,000分の1相当の縮尺で日本全土の地表面データを取得するのに、従来の光学系衛星では4年半かかっていたものを、この衛星を利用するとわずか1カ月で把握できます。その迅速なデータ把握の特長を活かして、地球規模で頻発する地震、津波、台風、火山活動などの自然災害に対するリアルタイムの状況把握やモニタリング、被害予測などへの利用が期待されています。



「帰宅支援マップサービス」



「TerraSAR-X」

情報通信・その他のサービス



「セコム安否確認サービス」

総合的な企業向け災害 対策支援サービスを提供

セコムは、総合的な企業向け災害対策支援サービスとして、「セコム安否確認サービス」と「セコム初動支援サービス」を提供しています。「セコム安否確認サービス」は、大規模な災害が発生したときに、従業員や

その家族の安否を迅速かつ的確に把握して、業務の早期再開を支援します。このサービスの特長は、従業員の安否確認はもちろん、専門スタッフが24時間365日災害発生時の初動をサポートするところにあります。しかも、レンタル方式でサービスを提供するので、お客様はシステムの導入と管理の手間がかかりません。

さらに、セコムのノウハウを活かして災害対策を強化してほしいというお客様のご要望に応じて、「セコム初動支援サービス」を開発しました。災害発生時には、迅速かつ的確な初動対応が、被害の拡大防止に欠かせません。そのため「セコム初動支援サービス」では、初動マニュアルの作成を支援するサービス、そのマニュアルをインターネットや携帯電話などで閲覧できるサービス、防災グッズの在庫管理から有効期限管理・補充までを一貫して行うサービスを提供しています。

高度な情報セキュリティを提供

セコムは、情報時代のセキュリティニーズにも対応しています。「セキュアデータセンター」は、フィジカルセキュリティとサイバーセキュリティを融合させた最高水準の堅牢性で、お客様の大切なデータを守っています。データセンターは、お客様のサーバーを預かり、インターネットへの接続回線や保守・運用サービスなどを提供する施設です。セコム

の「セキュアデータセンター」は、常駐警備員が24時間警備し、入退室管理や監視カメラなどセコムが得意とするフィジカルセキュリティのノウハウを活かした厳重な安全対策の中で、お客様のサーバーを預かり、不正アクセス監視、ウイルス監視、電子認証サービスなどの高度なサイバーセキュリティを提供しています。「セキュアデータセンター」は、日本を代表する金融機関の電子認証局構築・運用を受託するなど、そのセキュリティレベルの高さには定評があり、「情報セキュリティもセコム」という信頼を得ています。

質の高い「安全・安心」を提供する 「グローリオ」シリーズ

セコムが提供している分譲マンション「グローリオ」シリーズでは、「安心と快適のマンション」をコンセプトに、グレードの高いセキュリティを提供しています。各住戸にセコムのオンラインセキュリティシステムを標準装備しており、窓からの侵入を困難にする「SECOMあんしんガラス」、エントランスホールやエレベーターを遠隔画像監視する「セコムIX」、心停止となった方々の救命に用いる「セコムAEDパッケージサービス」を備えたマンションもあります。また、休日・夜間といった管理人不在の場合にも、24時間体制のお客様サービスセンターがご用件をお聞きする「グローリオ・サポート24」を提供しています。今や、セキュリティはマンションの購入を決定する上で重要な要素のひとつになっています。セコムは、マンションの建物の品質だけではなく、高度なセキュリティによる「安心品質」を付加したマンションを販売していきます。

「セキュアデータセンター」

